

事業所名	ドリームズ・21st 伊勢ラパーク前校		公表日	令和7年2月18日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・少し狭く感じることが有る為、広くとれる様に配置を工夫している(特に長期休み) ・限られたスペースを有効活用することが出来る様に教室のレイアウトを常に意識して工夫している。	・長期休み等、利用時間が長い時、小学部とキャリアズ混合時はスペースが狭いと思う。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・その日の状況に合わせて“業務分担表を活用”する事で余力を持って支援できる様に分担配置を行っている。 ・少ない人数の中で、声掛け等でカバーし合っている。	・子どもの状態に対しての職員配置は少ない気がする。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		・教室内のバリアフリー化は出来ている。情報過多とならない様、必要最低限の掲示物を心掛けている。	・2階に教室が有る為、バリアフリー化は難しい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2	・完全個室が無い為、休む時(静養室)は、他の利用者から見られない様にパーテーションを活用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	2	・その都度、口頭で伝達や共有を行っている。	・パートや非常勤の職員には、完全な参画は難しい。 ・日々の業務に追われていることが多く、PDCAサイクルは浸透していない。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3		・現状を把握し、今後の改善に向けて取り組んでいきたい。 ・第三者による外部評価の機会がないので、どのようにしていくか検討していきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	・なかなか検討することが難しいが、その都度、状況を伝えることで情報共有を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容が踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	2		・まだ十分に確認が出来ていない部分がある為、日々確認しながら行っている。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	・軸となる活動内容が決まっている中でも、少しずつではあるが実行している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1		・学習支援の為、固定化した方が子ども達が取り組みやすい事も有る為、行っていない。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1		・サービス計画を作成した際、職員間での情報共有が行き届いていない為、改善していきたい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・業務分担表などを活用している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		・翌日の朝礼時に行う様にしている。状況に応じて、当日の支援終了後に短時間であっても振り返りや共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・個別支援記録表を複数の職員で記録していくことで、改善や検証に繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	2		・随時、支援ミーティングを行うことで適切な見直しに繋がっていきたい。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	2		・個々の支援が難しいと感じる。内容が当てはまらない部分も有る様に感じる。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	7		・取り組み内容の一部を“自己選択”して決められる機会を設けている。	

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2		・相談支援事業所の相談員さんを介して情報共有していただいている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	2		・相談支援事業所の相談員さんとのモニタリング時に共有を行っている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3		・そのような機会を設けることが出来ていない為、今後 情報収集を行っていく必要がある。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5		・他事業所との交流の機会を増やす為、現在活動を行い計画中である。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	1		・参加することが出来ていない為、今後は出来る限り出席していくことが出来る様に情報収集していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		5		・来年度より、保護者様との交流会の実施に向けて計画・準備中である。 ・情報提供等は積極的にやっているが、家族支援プログラムや研修の機会を検討していきたい。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			・随時、電話対応にて行っている。 ・保護者様からの要望に応じて、随時 面談の機会を設けている。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	4		・来年度より実施予定として、現在 計画・調整を行っている。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			・HPを更新したり、長期休みの行事などは郵送物にてお知らせしている。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			・施設が出来るキャビネットを使用して保管している。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		・今後、前向きに検討を行ってきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			・年に2回“防災学習”を設けている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			・薬を持参される方が殆どいない。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			・具体的に再発防止に向けたマニュアル等、文書化しておく対応しやすくなるのでは。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			・毎年、実施される行政研修に参加している。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	1		・対象となるご利用者様がい無い為、行っていない。